

Fuji Champion Race Series Round 3

2021.10.16 SAT - 17 SUN

SILVIA・ALTEZZA/NA1600/MR2

AE86/AE111

Round 2



第2戦をむかえたこのカテゴリー、曇り空の中で行われた予選ではトップタイムを出したのがシルビア・アルテッツァクラス#15 S15シルビア 山崎浩明 1'57.407。N1600クラスは総合2番手タイムの#四季の森歯科IDIウィナー 86 秋元優範 1'58.622。MR2は総合4番手タイムの#78 ダイエーモータースDXLMR2 谷田伸之 2'03.213。AE86 #240 ガレージアネックス・μ・レビン 山口崇 2'03.561。AE111 #18 遠心ACRE塩岡スピードレビン 2'04.456が各クラストップからのスタートと決まる。決勝のスターティンググリッドは規則によりNA1600がポールからのスタートとなっている。決勝もまた曇り空の中スタートがきられ、フロントローの#64 サン・パワーハウスIDI86 矢島篤がトップで1コーナーに、その後ろの中段グループで1コーナーの立ち上がり数台コースオフするマシンが。シルビアトップの#15山崎も好スタートを見せたもののオープニングラップでは総合5番手まで落としている。その後、#64矢島がトップを守るが背後には同じ

NA1600クラス#37 秋元とのコンマ差の争い、3周目に3番手まで上げてきた#15山崎もその後もファステストラップを更新しながらそのトップ2台に徐々に迫ってくる。ラストラップで#37 秋元を抜き総合2番手に浮上し#64 矢島に迫ったが、並んでチェッカーラインを通過して0.029秒差で#64矢島が逃げ切った。レース後の各クラス優勝ドライバーコメント NA1600 #64矢島「疲れました！次も全勝目指して頑張ります」シルビア#17山崎「スタート直後はマシントラブルで遅れてしまいましたがその後、普通に戻りました。次回までにあまり日程が無いけれど原因を見つけなければ」AE86 #40 ASやなぎもととアクレ86レビン 柳本文彦「久しぶりに優勝出来ました！チャンピオンシップも最終戦までもつれ込んで面白いです！」MR2 #78 谷田伸之「前半は周りに皆いて、レースを楽しめました」AE111 #91 MAS・IDI・DLLレビン 船木周一「マシンが調子良く、アドバンテージがあったので後半で抜くという作戦をたてていてそれが上手くいきました」



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	91 船木 周一
2	18 塩岡 雅敏
3	32 松川 智泰
4	13 金崎 権
5	12 UZURA



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト AE86

Rank No.	Name
1	40 柳本 文彦
2	41 中村 徹
3	35 望月 守



Winner



2nd



RESULT リザルト MR2

Rank No.	Name
1	78 谷田 伸行
2	20 木邨 一吉



Winner



2nd



RESULT リザルト NA1600

Rank No.	Name
1	64 矢島 篤
2	37 秋元 優範



Winner



2nd



RESULT リザルト SILVIA・アルテッツァ

Rank No.	Name
1	15 山崎 浩明
2	14 渡辺 博人

FCR-VITA Round 4



Winner



2nd



3rd

今回の第4戦は日程の変更や他のサーキットでもVitaレースが何か所でも行われており、いつもは盛況のVitaも今回はエントリー台数9台と少々寂しい感じになってしまったが、逆に今回出られていることは、シリーズランキングに大きなチャンスとなることになる。まず土曜日の朝の予選はドライコンディションで行われ、トップタイムをだしたのは開幕戦優勝の#122 オートルックVITA01 新井薫 2'01.348、2番手は#21 オートルックVITA-01 いむらせいじ 2'01.698、3番手に#87 おさきにどうぞ☆VITA 山本龍2'01.94、4番手には#8 東京IRCvinoニルズ01 イシカワヨシオ 2'02.543となった。12:25スタートの決勝では、グリッドに並びだした頃に、コースの一部では霧雨が降り出してきたがドライ路面でのスタートとなった。オープニングラップを制したのは#21いむら、しかし#122新井もすぐ後ろについている。3周目にはストレートで2台が並び、先に1コーナーに飛び込んだのは#122新井、その後もトップ4台はコンマ差の争いが続いているが、レース中盤になると雨量がだんだん増えてきて、ラップタイムも徐々に落ちてくる。その後は2番手ポジションの入れ替わりがあったものの、10週の決勝は#122 新井、#21いむら、#87山本、#8イシカワと予選順戻ったポジションでチェッカーを受けた。#122新井はレース後に「セミウェットは得意なんですが、今日みたいにドライからいきなりウェットに路面が変わるのは大変でした。タイヤがまだ暖かいうちはまだ良かったのですが、いきなり冷えてしまったので。でも前半はいむらさんともバトルが出来たし、オートルックチームで表彰台を独占できて本当に嬉しいです」と語った。

RESULT リザルト FCR-VITA

Rank No.	Name
1	122 新井 薫
2	21 いむらせいじ
3	87 山本龍
4	8 イシカワヨシオ
5	32 河本 満
6	22 富田 栄造

N1400/Audi A1 Fun Cup Round 2



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	21 大竹 直
2	26 斎藤 和実
3	72 高橋 ノボル
4	5 水谷 明彦
5	8 木村 洋輝
6	57 小山 正博



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト Audi A1 Fun Cup

Rank No.	Name
1	105 イシカワヨシオ
2	110 橋本 泰一
3	106 飯島 宗久
4	109 酒井 正和
5	102 阿野 凌馬
6	113 河村 翔太

Porsche Sprint Challenge Japan Round 7 & 8



ツインリンクもてぎ、スポーツランドSUGO、岡山国際サーキットと転戦し、それぞれで2戦ずつ開催されてきたこのシリーズも今回の富士が第7・8戦と最終戦になっている。日曜日の朝一番で行われた第7戦のグリッドを決める予選ではGT-I #63 TUC GROUP&TeamKRM 長嶋重登 1'56.643。フロントローに並ぶのは#33 KAWATSU KRM TETSUO OGINO 1'57.426。GT-4は#71 Porsche japan Junior Programme澤龍之介 1'57.453がトップ。第7戦決勝は雨が酷くなり雨量が多いためSCスタートに変更。3周SC先導で周回を重ねスタートが切られる。上位陣はポジション通り、綺麗に1コーナーに入っていくが中段グループではコースオフするマシンも数台。雨の中快走を続けるトップ2台だが、ラストラップで#33TETSUO OGINOがトップを奪いそのままチェッカーを受けた。#33TETSUO OGINOは「コース上に留まっているのが大変でしたが最後は狙っていました」GT-4優勝#71澤「ファステストが取れたので良かったです」と話している。日曜日の最後の決勝となった第8戦、ポールポジションは#33TETSUO OGINO、フロントローには#77 TARO racing MUSASHIが並ぶ。スタート前には雨に加えて霧も降りてきて今回もSCスタートになった。2周のSC先導の後にスタートが切られ綺麗な隊列のまま1コーナーに消えてゆく。そこからはトップ2台の激しいバトルが終始続き、10周の決勝はラストの最終コーナーから狙っていた#77 MUSASHIもコントロールライン手前で並んだものの0.160という僅差で#33 TETSUO OGINOが先にチェッカーを受けた。#33TETSUO OGINOは「ポールトゥウィンでシリーズチャンピオンも取れました！今シーズンは全戦ポイントも取れたし、還暦記念に良い結果が残せました」と話し、GT4優勝の#71 澤は「コースコンディションは2回目の方が走りやすかった。勝つことも出てファステストも取れて良かった」と語った。

Round 7

GT3-I



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト Round 7

Rank No. Name

GT-3 I

1	33	TETSUO OGINO
2	63	長嶋 重登
3	77	MUSASHI
4	78	七ツ矢 孝
5	23	KenRyu

GT-3 II

1	76	高木 啓一郎
2	25	久岡 卓司

GT4

1	71	澤 龍之介
2	51	横井 克一郎

GT3-II



Winner



Winner



Round 8

GT3-I



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト Round 8

Rank No. Name

GT-3 I

1	33	TETSUO OGINO
2	77	MUSASHI
3	63	長嶋 重登
4	27	眞野 壮一郎
5	78	七ツ矢 孝
6	66	荻原 秀樹
7	23	KenRyu

GT-3 II

1	76	高木 啓一郎
2	25	久岡 卓司

GT4

1	71	澤 龍之介
2	51	横井 克一郎

GT3-II



Winner



Winner



N-ONE OWNER'S CUP Round 15



全国のサーキットを転戦して全15戦で行われるN-ONE OWNER'S CUPも今回が最終戦。54台フルグリッドのエントリーとなった。土曜日の午後から降り続く雨は日曜日の朝の予選でもウェットコンディションで行われた。トップタイムを出したのは#13 ツカハラレーシングN-ONE 高橋智紀 2'42.077、2番手には#254 N-ONE ホンダ学園 関東校 雲類鷲翼 2'42.950、3番手に#91 ガンセキオープンN-ONE 片野翔太 2'43.114、4番手 #250 富士マリオーレーシングN-ONE 石川光久 2'43.643、5番手 #422 静☆西N-ONE2号 興梠高弥 2'43.767といったグリッド順になっている。10:50スタートの決勝でも雨量がかなり多くSCスタートに変更、SCが2周先導のもとスタートが切られ、3周目にトップで戻ってきたのは#13 高橋、#254 雲類鷲翼という上位陣だが、その後の3番手争いは#91片野、#250 石川、#422興梠の3台が熾烈、トップ2台は徐々に差を広げ、7周の決勝は#13 高橋、#254雲類鷲翼の順でチェッカー、3位表彰台にはラストラップで前に出た#422興梠が入った。レース後、#254雲類鷲翼にスタート手順違反のパナルティが下され、30秒加算、正式結果は#13 高橋、#422 興梠、#91 片野の順となった。レース後#13高橋は「雨量がかなり多く、とにかく滑るのに気を付けて走っていました。周回遅れをパスしなければならないのが、たまたま100Rで2回続き、かなり気を使いました」と語った。



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト N-ONE

Rank No. Name

1	13	高橋 智紀
2	422	興梠 高弥
3	91	片野 翔太
4	101	松本 玲二
5	76	梶本 隆介
6	475	板倉 慎哉



Fuji Champion Race Series

86&BRZ FUJI 86BRZ Challenge Cup Round 3



今回が最終戦となるこのカテゴリー、日曜日午前中、雨の予選でポールポジションを決めたのは86&BRZクラス#312 埼玉自動車大学 松本晴彦 2'19.184。フロントローに並ぶのは86BRZ Challenge Cup JP-2Rクラス#55 AUTOFACTORY86 たしろじゅん 2'20.724。予選も中盤になってきた9:11、ダンロップコーナーの手前で2台が激しいアクシデント。赤旗中断になり、その後9分ほどを残して予選は終了となった。12:00スタートの決勝は、かなりの雨量に加えて各所で霧も降りてきてしまう。そのためSCスタートになるが、そのままレースの半分を超える6周をSC先導で周回、ようやくスタートが切られ、スタート直後は#312松本と#55たしろが並ぶものの1コーナーへ最初に入っていくのは#312松本。天候のせいか各所でコースオフするマシンも多い中、#312松本はコンスタントに後続マシンとの差を広げてそのままトップでチェッカーを受けた。#55たし

ろは反則スタート判定と判断されて30秒加算のペナルティ。86&BRZクラス・総合優勝は#312松本、Fuji 86BRZ Challenge Cup JP-2R優勝は総合2位で#99 プロコンポジットBLIZ86 小野田貴敏、JP-2Sは#750 ケイズレーシングBRZ 鍛冶田昇、JP-3Sでは#76 PropBOXレーシング青86 長和樹、JP-4Sは#904 PGK小川IR BANDOH86青柳貴明という結果。#312松本「雨だったので総合を狙えるチャンスはあると思っていました、霧は降りてきたけれどコース上は大丈夫でした」#99小野田「水しぶきが酷くて直線は何も見えないし、このままやるのかな?」と思って走っていましたがコースに残れたことでラッキーにも優勝できました」#750鍛冶田「今回、結果は良かったもののベストラップもクラス3番目だったし、雨の走りもまだまだで課題はいっぱいです」と語った。



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	312 松本 晴彦
2	53 森田 幸二郎
3	77 服部 文雄
4	57 土山 哲史
5	54 山口 悟
6	222 松下 浩平



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge Cup 2R

Rank No.	Name
1	99 小野田 貴敏
2	55 たしろ じゅん
3	8 古田 聡



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge Cup 2S

Rank No.	Name
1	750 鍛冶田 昇
2	16 石川 賢志
3	41 池本 繁弘
4	49 清 充秀



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge Cup 3S

Rank No.	Name
1	76 長 和樹
2	72 堀 舜之
3	50 五十嵐剛木
4	700 梅原 雄一
5	616 伊東康宏



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge Cup 4S

Rank No.	Name
1	904 青柳 貴明